

School Library

令和5年2月13日発行 担当：図書委員会1年生



月号



こんにちは。2月に入りました。もうすぐバレンタインですね。バレンタインにおすすめの本もたくさんあります。この機会に本を読んで新たな出会いを探しましょう。

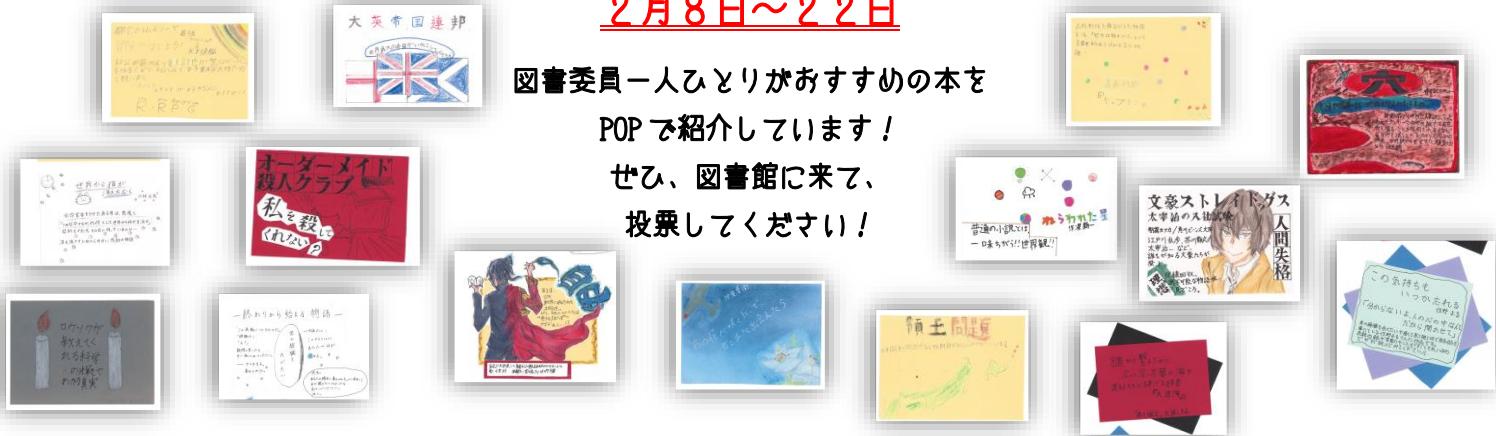
(担当 1-C 増永颯太)



POPコンテスト開催中です

2月8日～22日

図書委員一人ひとりがおすすめの本を
POPで紹介しています！
ぜひ、図書館に来て、
投票してください！



今回私が紹介する本は近藤史恵さんの「サクリファイス」です。

私は物心がついた頃から本を読むことが苦手でした。

私の中で本といえば漫画を読むことでした。今までに読んだ本の数も両手で数えられる程度しか読んだことがありません。そんな私でも楽しくすぐに読み終わった小説です。この本との出会いは初めて読書週間がある学校で担任をしていたときに、クラスの生徒の前で本を読まなくてはいけない・・・どうしようと思って読書が好きな先生に「スポーツの小説で面白い本はありますか?」と聞いて紹介してもらったのが出会いです。

小説のあらすじは…

主人公の白石誓は陸上選手から自転車競技に転向します。そしてプロのロードレースチームに所属しチームのエースを支えるアシストというポジションで世界の各地を転戦しているときに大きなアクシデントが発生します。苦戦を乗り越えようとする成長する青春小説の要素と謎を解決してい

くサスペンスの要素があります。

コミック化もされていますし、小説の続編も出ています。
ぜひ読んでみてください。



サクリファイス
近藤史恵 B913 C





私と読書 南先生

今回、私が紹介したい本は、宇野重規さんの『未来を始める「人と一緒にいること」の政治学』です。みなさんは、「政治って何ですか？」と聞かれると、そのままそっくり聞き返すか、国会や政治家のことを思い浮かべるのではないかでしょうか。日本では、選挙の投票率も低く、国民と政治の距離が離れています。この本では、政治とは結局のところ人と一緒にいること」であり、仕事場でも教室でも人と一緒にいるところに、必ず政治の基本があるというのです。お互いに考えの違う人がいて、対立が生まれ、それを協力して解決しようとする。これが、政治そのものだというのです。

そう考えると、だんだん政治が日常と結びついてきます。

私は、大学生の時にこの本を読んで政治学という学問の分野に興味を持つようになりました。実際に政治学の世界は難しいところもありますが、政治の基本は「人と一緒にいること」、実感を持って勉強することができました。中学校の社会の授業でも公民分野では特に、政治学について取り扱います。皆さんにも政治を身近に感じてもらえると嬉しいです。

この本を読むとそんな気持ちにもなります。

(担当: 1-C 小川舞華)



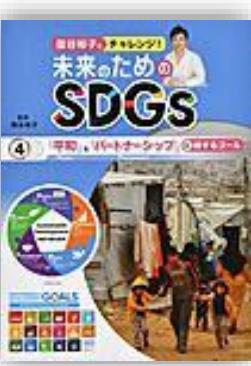
未来をはじめる
「人と一緒にいること」の政治学
宇野 重規著

この本は購入予定です。
しばらくお待ちください。

図書委員おすすめの本 テーマ チョコレート

『アーモンド入りチョコレートのワルツ』 森絵都著 913も
ピアノ曲に彩られた3つの物語「子供は眠る」「彼女のアリア」「アーモンド入りチョコレートのワルツ」です。「子供は眠る」は夏休みに従兄弟5人が集まる別荘での出来事です。「彼女のアリア」は不眠症の男子と虚言癖のある女子の音楽室での出来事です。「アーモンド入りチョコレートのワルツ」はピアノを教わっている奈緒の先生の元にフランスからサティのおじいさんがやってきた話。の3つがあります。児童書ですが中学生でも楽しめると思います。

(担当: 1-B 伊藤 蓮)



国谷裕子とチャレンジ! 未来のための SDGs 4

「平和」と「パートナーシップ」に関するゴール 国谷裕子著 333
この本は今世界の問題になっているSDGsのことについて書いてあります。そしてこの中にもチョコレートに関する問題があります。チョコレートは、小さな子供たちが労働して生産されているのが現状です。そのためにできたフェアトレードでチョコレートが生産されていて、それは児童労働を撲滅させるための製品です。

今年のバレンタインにフェアトレードのチョコレートを使ってみるのはどうでしょうか?

(担当: 1-A 大木創介)